

2018年
9・10月号

TOKYOタイムス トキオ

NO. 146
岩本工業(株)

ホームページ <http://www.iwmt-kg.co.jp/> / Eメール: iwamoto@iwmt-kg.co.jp

「躍動する高校球児」

H30年9月吉日 岩本 博之

記念すべき第100回大会が開催され、「事実は小説より奇なり」予想されない劇的な展開に日々感動を受けています。まずは記念大会の始球式は松井秀喜さんが後輩の守備の中で投球！！幕開けの偶然にしては出来過ぎのシチュエーションで百万回に一度の確立よりも低い奇跡です。1992年夏の甲子園で明德義塾との熱戦は、5連続敬遠という前代未聞の結果で負けましたが、その勝敗以上に松井選手の素晴らしい姿勢・態度に称賛が集まりました。1979年には箕島戦 延長18回3時間50分の死闘や、1995年 帝京との決勝戦で1:3の惜敗。松井さん曰く「星陵は負けて伝説を作ってきた」。..何かしら次なる奇跡のお膳立てのような気がします。

8月12日猛暑の中で愛媛県済美高校と対戦。途中7点リードを7回までの展開では、誰しもが99%星陵高校の勝利を信じていましたが、大きな大きなドラマが潜んでいました。8回裏にまさかの大量リードを逆転され、反対に2点ビハインドを負いながらも9回には見事同点。13回表の攻撃では佐々井選手の神がかり的なスクイズ成功で2点勝ち越して勝利を信じたのも束の間、選手の疲労や故障を防ぐ為の新ルール「タイブレーク」の末に延長13回裏劇的な史上初のサヨナラ満塁ホームランを浴びて星陵の大会は幕を閉じました。圧巻は12回裏の満塁大ピンチには寺沢投手が力投し、押し出し1点を取られるとサヨナラ負けのプレッシャーの中、2人のバッターをフルカウントから見事三振に打ち取った精神力には感動しました。野暮で変なミス(ボーンヘッド)も無く各選手の息遣いが伝わってくるような素晴らしい熱戦でした。..と共に監督さんの適切な指示と英断には感服しました。今までは送りバント・スクイズミスや強硬策の失敗などを批判的に見ていましたが、作戦一つ一つが物凄く勇気が要る事を改めて認識。我々傍観者はテレビ観戦で俯瞰した映像を見ているから欠点を指摘できますが、渦中の当事者は熱気の籠った空気の中(現場)で最適の判断をしている事に、ようやく気が付きました。サッカーなどは最たるもので、選手や監督は平面な視界の中で瞬時の判断を行う訳ですから敬意を表します。

運が「良い・悪い」..も存在しないと思います。来年の春選抜大会で良い成績が出れば、今回の事が糧となるはずですし、必ずやいずれ花開くと信じています。プロ野球では金満チームがホームランバッターやエース級ピッチャーを多く集めても、優勝を約束されるものではありません。選手獲得や専門任監督・コーチのハンデが大きい公立高校の出場校は56校中8校で、金足農(秋田)、高岡商(富山)、白山(三重)、明石商(西兵庫)、丸亀城西(香川)、鳴門(徳島)、高知商(高知)、佐賀商(佐賀)。高岡商業は山田投手のクレバーな投球で優勝候補の大阪桐蔭と対戦し1:3で惜しくも負けましたが称賛に値する熱戦でした。金属バット使用に関しても大きな問題があります。当初(1974年)導入は折れないから安全・経費節減が主旨だと思いましたが、木製バットに比べボールが6~8m飛んで(スイートスポットが5倍ぐらい)当たり損ねが少なく、腕力さえあればヒット・ホームランに成ります。因みにプロ野球で金属バットが解禁に成れば本数の競争は100本台に成り、今の相撲が巨人化して大味な取り組みが多くなるように、野球も技術よりは腕力さえ有れば通用してスリリングなスポーツの楽しみが薄れると思います。高校時代に大型スラッガーとして持て囃されてもプロで即戦力になる野手は極く少数で、ピッチャーは飛距離が出る金属バットのハンデを乗り越えているので、実績通りの活躍が見込めます。そしてワンマンな超高校野球児が居るだけでは2~3試合を勝っても、一人相撲の結果は優勝までは辿り着けません。高校野球の文化は先ずは未成熟な少年を育成する監督やコーチ&父兄の情熱が選手を成長させ、更に地方大会を勝ち抜かなければなりません。花の甲子園大会に進出するだけでも大変です。国民を熱狂させる素晴らしいイベントは、泥にまみれた練習の成果をチームプレイで発揮するアマチュア精神の清々しさに心打たれます。心打つドラマは地方大会から奇跡・奇跡の積み重ねで、チームワークの集大成が「優勝」という御褒美を授かるのではないのでしょうか。



グッド石川ブランド認定！！

楽〜ラントが平成30年「グッド石川ブランド」の認定を受けました。「グッド石川ブランド」とは、県内の中小企業者等が開発又は改良した製品のうち、新規性や技術の独自性等が優秀な製品で、その中でも特に魅力的なブランドとして将来の成長が期待できる製品に認定されています。数ある製品の中で選んで頂きましたので販売促進に活用していきたいと思っております。

ラジオ体操で「府県等表彰」頂きました



ラジオ体操の普及奨励に寄与した功績の著しい団体または個人を対象として昭和31年より表彰が行われていて、当社は平成30年度の「府県等表彰」を頂くことが出来ました。創業以来毎日体操してきて、まさに「継続は力なり」です。これからも健康・ケガ防止に毎日ラジオ体操をしていきます！！



倉部事務所 改装工事

6月より倉部工場の事務所付近を増築・改装工事をしていましたがこの度完了しました。事務所を一回り広げ会議室を1Fに増築し新しい机とイスを入れ心機一転。広く明るくなった事務所で仕事の効率を上げましょう！！



事務所内
手前が広くなった部分



お客様用 打ち合わせ室

9月

10月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1		1	2	3	4	5	6
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

社内研修旅行 ～機械要素技術展・東京観光～

6月22日～23日、総勢50名で東京へ研修旅行に行ってきました。1日目は当社も出展させて頂いた**機械要素技術展（東京ビッグサイト）**、夜は貸切の屋形船に乗って東京湾クルーズ、2日目はスカイツリー・ルミネ the 吉本観覧など、盛りだくさんの内容でした。



新幹線に乗って東京へ



本場の江戸前寿司を前に



〃築地、散策
卵焼きを食べ比べ～



月明かりを受けた
屋形船の上で

機械要素技術展を見学して

第三係 尾田

今回の機械要素技術展で、数多くの出展の中から気になった物がありました。それは、組立やメッキ処理前の品物を洗浄し、拭き上げる時に使う紙ウエス(キムタオル)です。普段、薬品(シンナーやアルファクリナー)を付けて油汚れを取る際、どうしても紙ウエスがボロボロになり細かい繊維が品物に付着し、エアブローをしていたことがありました。そのキムタオルを製造・販売している日本製紙クレシア様からボロボロになりにくい紙ウエスがあることを知りいくつかサンプルを頂いたので、色々試して改善していきたいと思いました。

日頃当たり前に行っている作業を見直し、疑問に思うことが大切だと改めて思う技術展でした。



機械要素技術展 ブース

ビアパーティ

7月20日
ANA クラウンプラザ ビアテラス

今年は例年になく猛暑の中、協力企業様はじめ日頃お世話になっている関係者様にお越しいただき、過去最大の**総勢179名**でビアパーティを開催！お陰様で貸切会場は今年も大変な盛り上がり！足を運んで頂いた皆様方ありがとうございました。



みんなで乾杯～♪



先輩にア～んでもらう後輩
仲良しです(*^▽^*)



食べ飲み盛り4人衆
いっぱい食べて夏バテ防止！！

中山会計様主催 フットサル大会

6月24日
LEON 野々市

研修旅行から戻ってきた翌日に、中山会計様主催のフットサル大会に参加させていただきました。場所は4月にオープンしたばかりのLEON 野々市 SPORTS SQUARE！**社内の精鋭達**を集めて挑みましたが疲れが残っていたのか結果は出場チーム8チーム中8位・・・来年はリベンジだ～(´・`・´)!!



編集後記：今年の夏は例年に比べ猛暑日が多い年でした。皆さんは熱中症などで体調を崩していませんか。体調を崩さぬように睡眠、食事をしっかりとって、残りの夏を過ごしましょう。 Y. W